令和４年度　学校自己評価書

静岡市立清水桜が丘高等学校

Ⅰ　経営の重点に関わること（自己評価　Ａ：十分効果を上げた　Ｂ：効果を上げた　Ｃ：効果が上がっていない）

1　学校教育目標　　自己実現に向かって挑戦し、未来を切り拓くたくましい若者を育成する。			自己評価	学校関係者評価委員から	
2 重点目標	(1)心身の健康、豊かな人間性と信頼関係の育成	①気持ちのよい挨拶ができると答える生徒の割合　80% 【学校説明】前年度より微増した。コロナウイルス感染の流行が収まらず、３密の徹底の奨励などによりコミュニケーションを積極的に取りにくいという状況ではあるが、多くの生徒は挨拶の習慣がついている。（生徒アンケートで「非常にそう思う」「そう思う」と答えた生徒 79.1%　以下の項目も同じ）	A	A	・あいさつは人間生活の基本です。 ・信頼できる先生がいる割合を増やす工夫が必要か。少しでも増やすよう努力してください。 ・自己肯定感を養うには自分の長所を伸ばすことが大切です。 ・１か月に１冊以上読書する生徒の割合が徐々に増えているが、もう一息か。ネットでの読書もよしとするのか。 ・学校が楽しいと答える生徒が少しでも増えますように。 ・毎回、学校訪問時にすれ違う生徒全員から挨拶していただいています。 ・信頼関係の構築には相手方の個性を認めることが大事だと常々感じています。先生、友人、先輩、後輩、自己をほめる取り組みをしてはどうでしょうか。ICT を活用して「ありがとうメッセージ」や「ほめほめ掲示板」など、一方通行ではなく双方向コミュニケーションを意識させる。 ・授業参観して落ち着いて学習する姿は良いと思います。 ・8 項目のうち５つ目標達成で、3 つが少し問題ありかと思いますが、特に③と⑤について先生に対する信頼が７０％は残念です。もう少し生徒に向き合って信頼される先生になってほしい。また、自分の良いところありと答えた生徒が少ないことはもっと自信を持たせるように友達付き合いを大切にして、余裕のある生活を心がけさせたい。 ・⑧の問題行動等０件、交通事故数減は素晴らしいと思います。
		②礼儀やマナーを大切にしていると答える生徒の割合　90% 【学校説明】前年度より微増した。交通マナーや電車内のマナーについて外部から指摘を受けることもある。（93%）			
		③信頼できる先生がいると答える生徒の割合　70% 【学校説明】一昨年度と昨年度はそれぞれ 60.3%、60.4%だったが、今年度は約２％増加した。しかしながら「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と答えた生徒が 13.1%もおり、この層を引き上げたい。（62.4%）			
		④信頼できる家族や友人がいると答える生徒の割合　90% 【学校説明】今年度、初めて設定した質問である。96.4%の生徒が信頼できる家族や友人がいると答えた。			
		⑤自分に良いところがあると答える生徒の割合　65% 【学校説明】前年度より微減だが、生徒の自己肯定感は割と高い。（68.6%）			
		⑥１カ月に１冊以上の読書をする生徒の割合　60% 【学校説明】４月～11 月までの集計結果は 53.7%であった。（昨年比４％増）読書への動機付けをより一層強化していきたい。			
		⑦学校が楽しいと答える生徒の割合　80% 【学校説明】前年度より微増。（77.1%）昨年度に比べ、コロナウイルス感染に関する行動制限が緩和され実施できる行事が増えたことも要因であろう。			
		⑧問題行動等件数、交通事故件数の前年度比減少 【学校説明】問題行動 0 件(昨年 6 件)、交通事故 3 件(昨年 9 件)昨年度より減少している。現段階(12 月)での結果であるので、今後も起こらないように指導していく。			
	(2)汎用性の高い力の育成と進路希望の実現	①授業の内容が分かると答える生徒の割合　60% 【学校説明】前年度より微増。（62.3%）しかし、「どちらとも言えない」「あまりそう思わない」と答える生徒が 37%存在する。分かりやすい授業の実現に向けて授業改善に取り組む必要がある。	B	B	・内容がわかることは大切なこと。 ・課題探究型授業は参観した授業の中でその姿を見ることができた。 ・ICT を活用した授業は将来が楽しみです。 ・進路指導は 3 年間（1 年次）から推進してほしいと思います。 ・先生の意識改革が必要か ・1 年次より各種資格の取得に積極的なのはうかがうことができる。 ・ＩＣＴは今の時代の生徒には受け入れやすいと思うが、先生方がうまく活用し、課題探究型授業へよりよく発展させることが望まれる。 ・引き続き向上に向けた取り組みをお願いします。 ・①と③は大事なことですから、ぜひ改善してください。授業は生徒にわかりやすく教えてください。 ・⑥と⑦は学校の評判を上げることなので大いに力を入れてほしい。就職希望者 100%達成は大変素晴らしい。
		②課題探究型授業を実践している教師の割合　85% 【学校説明】本年度から追加された項目である。（非常にそう思う 3%、そう思う 39%、どちらともいえない 47%）謙遜もあるのかもしれない。しかし課題を見つけ解決する力を育成するのは昨今の教員に求められる力である。			
		③自分の考えを説明したり表現したりする力が身に付いていると答える生徒の割合　40% 【学校説明】前年度より 2.7%増加した。アクティブラーニング型の授業や探究活動、様々なアプリ等を使った表現活動を通じて、意見を伝えたり表現したりする機会が多くなったからだと考えられる。（50.5%）			
		④ＩＣＴを活用した授業を受けていると答える生徒の割合　75% 【学校説明】前年度より 7.7%大幅に増加した。本校の恵まれた ICT 環境や積極的なタブレット等の活用でここ数年間、70%を超えてきた項目であるが、今年度は１年生全員に BYOD を導入したことが大きく影響している。（78.8%）			
		⑤３年間を見通した進路指導計画の作成と学習時間・進路希望調査等のデータの活用。 【学校説明】大学見学や出張講義などの行事や、生徒が自ら考え行動するような進路計画を策定。データの活用については生徒に加え、教員も面談などに利用している。			
		⑥進学希望者の進路希望(３年当初)の達成率　50%　　県内国公立大学合格　10 人以上 【学校説明】多少の紆余曲折はあるが、達成している。県内国公立大学合格者 17 名			
		⑦就職希望者の就職決定率　100% 【学校説明】希望者 39 名　全員決定し、100%を達成。			
		⑧資格取得により身につけた力を活用できたと答える生徒の割合　70% 【学校説明】本年度から追加された項目である。（36.4%）資格を取得することが目的ではなく、資格で身に付けたものを活用できるよう指導していきたい。			
		⑨訪問受入、外国客船歓迎等国際交流活動の実施 【学校説明】コロナ禍により実施なし。			
	(3)総合的な探究の時間を軸とする課題解決力の育成	①地域とかかわり、課題を見つけ、課題について自分の考えを表現できたと答える生徒の割合　75% 【学校説明】本年度から追加された項目である。（69.4%）１，２年生は総合的な探究の時間を通して地域の課題を見つけ、検討し、解決策を導く活動を行った。多くのグループワークをこなし、自分の意見を伝える機会は多かったが、グループによっては難しかった面もある。	B	B	・各部活動の活躍はその都度 Classi で確認できています。 ・今後、地元地域とのより深いかかわり、そこでの課題発見、解決への主体的取り組みを期待します。 ・課題解決は授業の中で⇒学力論。 ・「挑戦」は部活動の中でも ・東海大会・全国大会は挑戦ですね。 ・評価基準がないと自己評価しづらいのではないか。
		②課題解決力が身についたと答える生徒の割合　70% 【学校説明】本年度から追加された項目である。（57.2%）授業や総合的な探究の時間で学んだことを活かせるように指導していきたい。			
		③主体的に取り組んでいることがあると答える生徒の割合　70%			

		【学校説明】前年度より 4.3%増加した。（72.3%）			・結果を出すことも大事であるが、③④のような前向きに取り組む姿勢が重要。目標値を上回っており、高評価できると感じた。 ・①から④までが、本年度より追加された項目であり、特に地域とかかわり、地域の課題を見つけることは表面的ではわからないと思います。今回自治会と敬老会行事に絵手紙で参加されたこと、また、街づくりミーティングに4名の生徒が一緒に参加して発言されたことは地域のことを知ってもらう機会になったと感謝しております。 ・⑤の部活動を通して台風 15 号の際、岡小学校での給水活動に支援してくれた方々にお礼申し上げます。
		④挑戦していることがあると答える生徒の割合　70% 【学校説明】本年度から追加された項目である。（75.5%）上記の項目と同様に主体的かつ積極的に物事に取り組む好ましい傾向が見られる。			
		⑤教科指導、総合的な探究の時間、部活動等における、地域・社会と連携した活動の推進(外部連携した授業　一部活一交流) 【学校説明】総合的な探究の時間「礎」では、静岡市内の企業と協働して、地域社会により良い変化をもたらすための方策を考案した。部活動については、吹奏楽部が清水エスパルスの試合会場や商業施設、草薙駅前等で演奏を行ったり、生活研究部、英語部は図書館で読み聞かせを行った。また、生徒会を中心とした SDG s に関するプロジェクトチームを立ち上げ、清水駅前銀座商店街でフードドライブ、古着回収、スタンプラリー、科学部、棋道部、吹奏楽部も参加しイベントを行ったり、台風 15 号の募金活動を行った。			
		⑥複数部活動の東海大会、全国大会への出場 【学校説明】運動部では、男子ハンドボール部が昨年に引き続き東海インターハイ、全国インターハイに出場した。文化部では、昨年に引き続き、ワープロ部、報道部、新たに美術部、棋道部が全国高文祭に出場した。			
	(4)市民の期待と信頼に応える教育活動の推進	①学校の様子がよく分かると答える保護者の割合　70% 【学校説明】前年度より微増した。（62.2%）	B	B	・清水区の中学生が葵区、駿河区の高校へ進学する傾向が強いと感じています。志願者の確保頑張って下さい。 ・引き続き地域活動に積極的に参加できる体制や地域との連携に取り組んでください。 ・表題の「市民の期待と信頼に応える」とあります。地域ともっと交流する機会を作りましょう。自治会ではいつでもＯＫです。こちらからも働きかけますのでよろしくお願いします。
		②ＨＰ、学校紹介リーフレット、中学生体験入学の見直し 【学校説明】HP の内容を精査してわかりやすいものにした。新たな業者の選定が始まり、次年度の刷新に向け準備が進んでいる。中学生の視点に立った、視覚的にわかりやすい学校紹介リーフレット作成を行った。			
		③組織的に地域連携を実施できる体制づくり 【学校説明】総合的な探究の時間について、３年間の見通しを立てて、学校全体として企画運営する体制を整えた。その他教科や部活動などで地域連携する場合も、事前に計画が周知されるようにした。			
		④入学者選抜における、定員を上回る志願者の確保 【学校説明】学校の魅力について検討し、本校の取り組みを外部へ発信した。			
	(5)働き方改革	①各部署における業務の見直しと削減の推進 【学校説明】各分掌における仕事のリストと年間にかかる時間を調査している。リストをもとに仕事内容の見直しを促す。	A	A	・先生により軽重があることを軽減したい ・学校教育現場においても生産性向上は求めていくべきであり、引き続き取り組みをお願いします。
		②ＩＣＴを活用し業務の効率化をしている教員の割合　80% 【学校説明】本年度から追加された項目である。（89%）ほとんどの教員が ICT を活用して授業や業務を行っている。本年度より、BYOD を本格導入した。学校独自で Google 社と契約し、アカウントを取得し Google for education が次年度より本格始動する。			

Ⅱ　各指導部・領域に関わること（自己評価　A：十分効果を上げた　B：効果を上げた　C：効果が上がっていない）

大項目	中項目	評　価　指　標	自己評価	学校関係者評価委員から	
1 教育課程・学習指導	(1)確かな学力の定着 【市共通項目１】	①課題探究型授業を実践し、自己の考えを表現できる力を育成する。 ②総合的な探究の時間を活用して、自ら考え、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。 ③「職場体験学習」「外部講師による講座」をはじめ、実社会との連携による教育活動を推進する。 【学校説明】①今年度のアクティブラーニング授業研究会のテーマは「主体的・対話的で深い学び～BYOD を使った探究型授業の研究～」である。メンバーを中心に課題探究型授業の研究に取り組んだ。②総合的な探究の時間では、様々な手法を用いながら自分のアイディアや意見を表現する活動を取り入れた。また、グループで協働することで解決策や新規の企画を作るなどの力が身に付きつつある。③実際に行うことによって、生徒の就職や進学に対する意識付けを図ることは出来ている。	A	A	・課題探究型授業は参観授業からもうかがえた。 ・命の大切さや弱者へのいたわりは人権教育です。人権教育の推進をお願いします。 ・台風 15 号における地元へのボランティア活動等、生徒の道徳観、行動力は素晴らしいです。 ・国際理解教育については語学に限らず、今後は職場においても海外に人と一緒に仕事をする機会が増えることが想像できます。（少子化、高齢化等の影響で）ので、特別活動の充実に期待します。 ・人と人とのつながりを地域コミュニティが希薄化しているので、学校においても道徳教育を一層充実してほしい。地域課題でもあり、未来を担う生徒たちにこれからどうしていくべきかも含め考えてもらいたい。 ・課題をみつけより良く解決する資質と能力が育っていると思います。
	(2)道徳教育の充実 【市共通項目２】	①「道徳教育の全体計画」を周知し、各教科、科目において道徳教育に関わる単元・項目を考慮して授業展開を図る。 ②命の大切さや弱者へのいたわり、他人に対する奉仕の心を養うため社会貢献活動を奨励し、その為の啓発活動を推進する。 ③規範意識、マナー、生活態度等について、職員と生徒が共に考え、帰属意識を高める。 【学校説明】②台風 15 号の際、ボランティア活動に積極的に参加する生徒が多く、また募金活動を静岡駅で実施するなど多くの方から感謝の言葉をいただいた。③校則の見直しを通じ、生徒の帰属意識の向上につなげられるように取り組んでいきたい。	A		
	(3)特別活動の充実 【市共通項目３】	①さまざまな学校行事を通して、生徒の自主性や主体性を育み、望ましい人間関係を形成する態度を育成する。 ②修学旅行や海外語学研修のプログラムを充実させ、国際理解教育の推進を図る。 【学校説明】①10 周年記念と合わせて、清桜祭を実施し、委員長中心に生徒会が活発に活動し、成功裏に終わりことができた。他の行事でも生徒達から先生方に働きかける姿が多く見られた。②コロナ禍の影響で現地へ赴く海外語学研修は中止となったが、オンライン上で海外の大学主催の語学研修を受ける生徒もいた。	B		
2 生徒指導	(1)一人ひとりを大切にした指導 【市共通項目４】	①普段から生徒の言動に十分気を配り、また、一対一の面談をする機会を設け、目標に向けた取り組みを支援し、個々に適応した対応を心掛けるとともに、心の交流を図る。 ②学校カウンセラー、スクールソーシャルワーカー等を効果的に活用し、支援の必要な生徒に対して適切に対応する。 【学校説明】利用者増加により対応時間が増加した。養護教諭との連携の中で、医療機関の紹介や外部関係機関との連携を図ることもできた。	A	A	・モノの言い方も配慮が必要です。人権教育です。 ・教育相談の更なる充実をお願したい。 ・いじめ対策は職員研修が必要。 ・普段からの先生方と生徒たちの会話、コミュニケーションが大事であると考えます。ひいては先生方の信頼にもつながってくると思います。 ・重要な課題であり、引き続き子供たちを守る取組をお願いします。 ・生徒指導は職員にとって一番大切な仕事だと思う。生徒との接し方しっかり考えてお願いします。
	(2)校内のいじめ対策組織の運営の適正 【市共通項目 11】	①「いじめ防止等のための基本方針」を策定して職員に周知し、共通理解のもとに対処する。 ②「いじめ対策組織」を設置し、定期的に情報交換をする。 【学校説明】①「いじめ防止等のための基本方針」については、今までの方針を確認したが、修正等の必要性はなかった。 ②「いじめ対策組織」を設置し、定期的に情報交換をする必要性がなかったため行っていないが、担任含め生徒からの相談や、何か生徒に変化があった場合は、適切に対応した。	A		
	(3)いじめの早期発見、状況把握と対応の適切化	①年２回実施している「いじめアンケート」の内容を、より実態が把握できるように見直す。また、事後の対応を相談室と連携して行う。 ②教育相談体制を整備し、生徒・保護者がいじめを訴えやすい環境を整え、実態把握に努める。	A		

	【市共通項目 12】	【学校説明】①「いじめアンケート」については、内容を吟味し、修正をした。 ②「いじめアンケート」で気になる生徒に対して、教育相談室と共有し、SC、SSWｒと保護者と面談することができた。また、SC、SSWｒからのフィードバックにより、生徒の状況を把握することができた。			
	(4)いじめの再発防止に向けた取組 【市共通項目 13】	職員を対象として、いじめの未然防止に向けた取組に関する研修会を行う。また、生徒に対しては生徒会主催の啓発活動を行う。 【学校説明】今年度は、いじめも含めた人権に関しての研修を実施する予定でいたが、実施することができなかった。来年度は早い段階で実施したい。	B		
3 進路指導	一人ひとりの進路の実現	①生徒の進路希望や生活の様子を把握し、適切な学習支援・助言を行う。 ②講習や模擬試験等を通じて、学力向上や検定取得を目指す。 ③進路意識を高める行事を企画する。（大学見学・模擬授業・職場体験学習・講演会等） 【学校説明】①担任・副担任・教科担当を中心に十分になされている。ただ、負担のバランスが偏ったケースも見られた。②講習についてはその在り方や方法について現在検討中である。模擬試験については、今年度から 3 年生の 10 月実施のものを 1 つやめ負担を減らしたが、学力への影響は見られなかった。③大学見学を 3 年ぶりに復活することができた。	A	A	・大学見学や職場体験学習は生徒の気持ちを高ぶらせます。 ・現状で十分考えられます。 ・担任だけでなく、副担任、教科担当と十分な支援が大事である。
4 安全管理・指導	学校安全システムの構築 【市共通項目５】	①生徒の交通安全に万全を期すため、交通安全教室や交通安全指導（登校指導）等で周りを常に意識した交通ルール・マナー遵守の徹底を図る。 ②「学校安全計画」を策定し、防災避難訓練を計画的に実施する。また生徒・職員の防災意識の高揚に努める。 【学校説明】①登校指導を継続的に実施するだけでなく、委員会で施錠指導を含め、事故多発地点を生徒に示すなど事故予防に貢献した。②防災避難訓練の計画的実施はできている。台風 15 号のボランティア活動で生徒の防災意識が高まり、静岡県公立高等学校 PTA 連合会より高校生善行表彰を受賞した。	A	A	・交通ルールの遵守を徹底されたい。 ・通学路や学校内の危険個所を生徒目線で抽出させ、共有化や改善を図り、意識を高めてはどうか。ヒヤリハット事例の共有など ・交通安全には万全を期した指導をしてください。 ・台風 15 号を通して防災意識が高まったと思う。
5 保健管理・指導	健康教育の充実 【市共通項目６】	①健康診断、健康観察等を通して生徒個々が抱える健康課題を把握する。 ②校内救急体制を迅速に実行できるようにする。 ③校内外と連携を図り、組織的に対応をしていく。 【学校説明】朝食摂取率について、今年度は 95.5%であった。昨年の 93.2%よりは増加しているものの、それ以前の９８％前後より少ない。朝食接種率の増加に努めたい。ロイロノートによる健康状態の把握、手指消毒液の設置、手洗い・黙食・換気・校内でのマスク着用の呼びかけなど、感染症対策に取り組んでいる。	A	A	・校内外の連携は重要！ ・若いうちは朝食のウエイトは大きいと思います。 ・朝食を摂ることが生活に余裕と家族との話し合いにもなり大事だと思う。
6 特別支援教育	学校の実態に応じた校内支援体制づくりの推進 【市共通項目７】	①教育相談に関わる研修を計画的に行う。 ②特別支援の必要な生徒の把握に努めるとともに、必要に応じた支援や合理的配慮を行う。 ③個に応じた特別支援の方法の研究、個別の支援計画等の作成を推進する。 ④スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用方法の研究と実践に努める。 【学校説明】教育相談の予算確保することによって相談日を増やすことができた。利用者増加と対応時間が増加したことによって、予算が足りなくなった。SSWｒに関しては追加予算をしていただいた。養護教諭との連携の中で、医療機関の紹介や外部関係機関との連携を図ることもできた。	A	A	・教育相談にかかわる研修はまず、職員のことば遣いからだと思います。 ・外部との連携した体制充実をお願いします。
7 組織運営	組織・運営の改善 【市共通項目８】 時間管理の徹底	日課や朝学習等を工夫するなどして、職員の最終退出時刻が原則午後８時までにする。 【学校説明】８時以降に残業する場合は届け出るように呼び掛けているが、軌道に乗っていない。届け出に手間がかからないように、今後工夫が必要である。	B	B	・職員の最終退出時刻が、午後８時はいかがなものか。 ・先生方の体調管理も大切です。 ・ICT 機器を使っての授業は先生には負担が多いと思います。生徒に負けないよう努力してください。
	組織・運営の改善 【市共通項目８】 事務業務の軽減	クラッシーなどの教育支援ツールやＩＣＴ機器により、職員の負担を軽減する。 【学校説明】１年生が全員 iPad を持ったことにより、教材作成や配布、課題回収などの負担は減っている。使いこなせるようになるまでの負担感はある。令和５年度は３年生を除き iPad を持つことになるので、活用促進が必要になる。	B		
8 研修	研修体制の充実 【市共通項目９】	①校内研修テーマ（アクティブラーニング研究）に沿った研修会を前期・後期年２回定期的に実施する。 ②授業公開週間を前期・後期年２回、３週間ずつ実施し、教員の教科指導力向上と生徒の実態把握に努める。 ③各種研修会・研究会・講演会などの情報提供を積極的に行なうように努める。 【学校説明】前期は「総合的な探究の時間」に関するグループワーク形式の研修を行い、今年度から始まる「探究」について職員に周知した。後期は都市立高校合同で研究しているアクティブラーニング授業研究会を開催し、AL の第一人者である桐蔭学園理事長の溝上慎一氏を招き、「主体的・対話的で深い学び」について研修を行った。授業公開週間では、積極的に相互の授業を参観する姿があまり見られず残念であった。また、前期授業公開は水害の影響のため、中止せざるを得なかった。本年度の１年生から BYOD が実施されているが、アクティブラーニングに BYOD を活用する手法について理解を深めることができた。	B	B	・研修は教師のいのちです。
9 保護者・地域の住民等との連携	信頼される学校づくりの推進 【市共通項目１０】	①本校の教育目標・方針や教育活動を積極的に紹介し、定期的にＨＰの情報を更新する。 ②総合的な探究の授業等を中心に地域連携を推進する。地域防災や、ボランティア活動への積極的な参加を推進する。 ③ＰＴＡ総会・地区ＰＴＡを通じて保護者や同窓会員に学校の教育方針・教育内容や学校の現況を伝え、理解・協力を求めると同時に、同窓生・保護者からも広く意見を聴取する。また、ＰＴＡ広報紙では同窓会の活動の様子を保護者に発信する。 ④中学生やその保護者に授業を公開する。 【学校説明】①HP の内容を精査してわかりやすいものにした。新たな業者の選定が始まり、次年度の刷新に向け準備が進んでいる。②台風 15 号の募金活動を静岡駅で実施し、また校内でも委員会が中心になって募金活動を行っていた。ＰＴＡ広報誌の発行やＰＴＡ地区会での対話を通し、保護者に学校の教育活動への理解を深めてもらった。ＰＴＡ書面総会では、PTA 予算運用等の議題に対して 98%の賛同をもらった。総合的な探究の時間「礎」では、1 年生が地域の課題を探るため、清水地区でフィールドワークを行った。２年生は静岡市内の企業と協働し、地域をより良くするためのアイディアを生み出す取り組みを行った。	A	A	・教育目標の実現を実践したらどうか。 ・ＰＴＡの支援は重要！経営方針をしっかり説明したらどうか。 ・ＰＴＡについては各保護者様、それぞれの家庭の事情もあり忙しい中、本当によく協力してもらってありがたいです。 ・学校の内容を伝える方法とし HP で情報を更新することは必要ですが、あまり多くの人は見ていない。やはり、広報の「薫風」をもう少し多く発行するか、B4 サイズ位で２~３か月に一度発行してもらいませんか。 ・一般紙での報道だけでなく学校独自で広報してください。
10 施設設備	教育施設設備の充実と安全管理	施設・設備、用具・器具は日常的に点検を実施し、学校事故等の防止に努める。 【学校説明】 学期の始まりには、必ず教室のプロジェクター、ロッカー等、固定の状況確認や体育館やグラウンドのサッカーゴール、ハンドボールゴールの固定状況、防球ネット等、確認している。	A	A	・点検をお願いしたい。 ・日常的な点検をお願いします。